

# 市民の命の水は、手離してはいけない

## 自己水源《生田浄水場》を残すことが市の責任

### 3月議会で井口まみ市会議員が主張

# かわら版すげ

2010年3、4月  
市議会報告  
日本共産党  
市会議員  
井口まみ  
(発行)  
日本共産党市会議員団  
川崎市川崎区宮本町1  
電話 200-3360  
FAX 245-4140  
http://www.  
iguchi-mami.jp

## 「企業団」の経営のあり方こそ見直しを

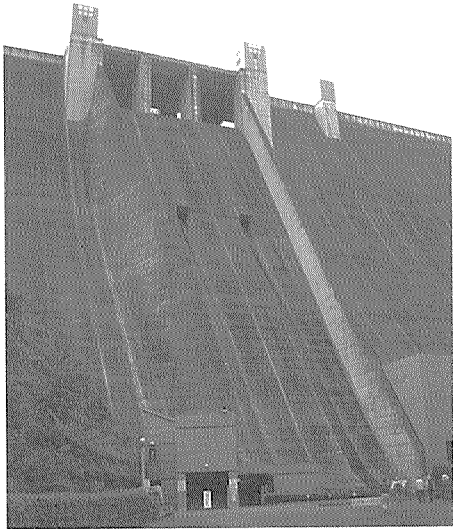
「多摩区の地下水くみ上げと生田浄水場の廃止をやめ、存続を」と求める声がどんどん強まっています。井口まみ市議はその声をうけ、3月議会予算審査特別委員会で「自己水源を残すことが市民の命の水を守る道」と迫りました。この質問の中で、いくつもの重大な問題がうきぼりになりました。

### 水利権は手離したら戻らない

各自自治体が川から水をとるときには「水利権」という、川の管理者が決めた量しか取水することができません。川崎市は自己水源のひとつである相模湖は、国土交通省が管理者で、おりしも2年後が水利権の更新です。川崎市は現在、四二万立方メートルの水利権を持っていますが、生田浄水場の廃止などを決めた「川崎市水道事業再構築計画」で自己水源の水量を二八万立方メートルに定めたため、国から「二八万に減らす」と言われる可能性が生まれています。水利権は一度減らされたら二度と増やすことはできないため、この先自己水源を増やしたいと思ってもできなくなるという重大な問題です。

### 井口市議は、

「相模湖の水も他都市に誇れるきれいな自己水源。自然流下で臨海部ま



神奈川県内広域水道企業団が国と作った「宮ヶ瀬ダム」。当時東洋一といわれた巨大なダムで、総工費3900億円。当時大きな反対運動もあった。

で流れるなど優れた水源を手離してはならない」と質問。栗冠水道局長は「四二万立方メートルを確保するよう協議する」「できなければ他の方法を考えて、水を確保する」と、努力するとはしたものの、水利権の減量を否定できませんでした。

### 生田浄水場の井戸水は水利権がない

いっぽう、生田浄水場の水源である多摩区の井戸水は、水利権などの問題がありません。井口市議は、「現状では、ますます生田浄水場の存続が

## 稲田堤駅の橋上化、一日も早く駅前安全対策強化も

### 井口まみ議員が求める - 3月市議会 -

今年二月、川崎市は「南武線アークセス向上方策案」を発表。稲田堤駅を橋上駅舎化することが明らかにになりました。井口市議は3月議会で、整備時期について質問しました。飛弾まちづくり局長は「基本、概略、詳細と設計に約3年程度必要」「JR登戸駅や他都市の同規模の駅を参考にすると、工事は2年から3年程度必要」と答弁。およそ6年程度かかることが明らかにになりました。井口市議は「一年でも一日でも早く完成を」と要望しました。



質問する井口議員（写真上）とカラー舗装された駅前踏切（写真下）

必要になっている」と指摘しました。自己水源を減らしてまで、水質が悪く

### 高い「企業団」の水を買うわけは

「再構築計画」では、自己水源の水を減らして、市民に必要な水の六四％を「神奈川県内広域水道企業団」から買うことにしています。水源は、小田原市の酒匂川の下流、飯泉取水堰で、川崎からは五六キロも離れており、水質も悪く浄水コストもとても高い水です。

そんなところから水を運ぶ理由を水道局のホームページではこう書いています。「企業団を設立した各水道事業者（川崎市もその一人）は、企業団の水道水の卸売りの水量にかかわらず、企業団が水源開発や水道施設の整備に要した費用を支払う義務があります」。だから減らせないというわけです。

井口市議は質問で、「自己水源をなくすのは市民にとってメリットがあるからではなく、過去の設備投資、しかもめっちゃくちゃな過大投資のツケをまわされているということだ」「巨大な施設はいずれ

莫大な補修費が必要になり、企業団の水道料金が上がり、それがそのまま市民に押し付けられる」と、この先、川崎市の意志にかかわらず、水道料金値上げの可能性が大きいことを指摘しました。

### 「企業団」のあり方を見直せ

井口市議は、「今手を打つべきは、自己水源の削減ではなく、企業団のあり方を見直すこと」とし、「川崎からその意思を発信せよ」とただしました。

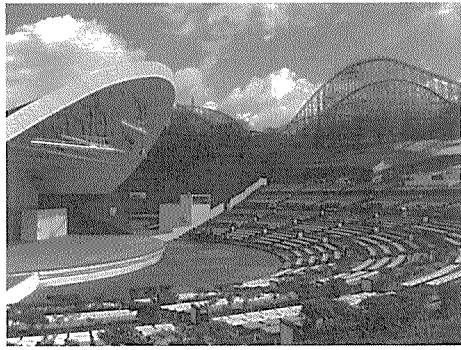
栗冠水道局長は「現在『神奈川県内水道事業検討委員会』が設立され、県内の水道の広域化について議論している」と答え、議論の場があることを示唆しました。

全国でむだな公共事業、天下り団体の見直しが課題になっています。ここ神奈川県でも決して例外ではありません。市民の大切な自己水源を手離して、むだな大型開発のツケを払うことが市民の合意を得られるのか、命の水を守ることが自治体の使命ではないのか、それが問われています。

踏切の危険性はなくなるならいとして、引き続き安全対策を要求。斉藤建設局長は「踏切部分のカラー舗装をおこなう」と答弁し、さっそく、カラー舗装がおこなわれま

# 「造成計画の妥当性を第三者の専門家に聞く」 まちづくり局長が異例の対応

よみうりランドの  
巨大埋め立て問題



計画では、この野外ステージの屋根もすっぽり埋まる高さまで埋め立てられる。

川崎市議会3月議会の予算審査特別委員会で、井口まみ市議は、よみうりランドが計画している巨大な埋め立て問題の安全性について取り上げ、川崎市としては異例の対応をいくつも取らせる約束をさせました。そのなかで、この埋め立ての危険性がいよいよ明らかにになりました。

「法面（のりめん）の安定性の検討は十分におこなう」

埋め立てられる土砂は「稲城砂」と呼ばれ、一度崩すととても固まりにくい危険な砂です。

井口市議は、東京都では異例の安全対策をとらせることとした「稲城砂」について、川崎市の認識をたどりました。飛彈まちづくり局長は「法面の安定性等の検討は十分におこなわれる必要があると認識している」と答弁。そのうえで「特に、大規模な盛り土法面については、その安定性の検討をおこなうように申請者に求めるが、本件については、それに加え、許可申請に先立ち、第三者の専門家によって、造成計画の妥当性の確認をおこなうことも、造成主に求めた」と、第三者の専門家による安全性の確認をおこなうことをあきらかにしました。

川崎市も万全の指導を  
さらに井口市議は、「工法や工事の管理も市の対応が重要」とたまたしたところ、飛彈局長は

「宅地造成の許可申請の際に、法律の基準とともに、第三者の専門家による知見を踏まえながら適正に審査する」「工事中についても、必要により施工状況の報告を求めることや、中間検査の実施などにより、工事が適切におこなわれていることを確認すること」を、明らかにしました。

この「稲城砂」が問題になって東京都が指示して作成された「南山東部区画整理事業」の「工事検討委員会答申書」では、コンクリートと砂を交互に入れる工法を取ること、雨の日は工事をしないこと、工事が終わってから十分長期にわたる観測をおこなうことなど、細かな指示をしています。それほど注意が必要な砂だということです。局長は「東京の経緯を踏まえる」と述べました。

「調整池はまちづくり局長が指導する」―― 異例の答弁

この埋立て計画地の雨水は、北側の調整池に集められます。調整池は菅仙谷の谷戸の頭の上にあります。かつて何度も調整池から水があふれて水害があったと、仙谷の古老が話しています。

よみうりランドは今回の調整池の改修工事もおこなうとしていますが、どういう工事なのか、まったくわかりません。調整池の強度によっては、ま



調整池のすぐ下が菅仙谷の谷戸。これがあふればまっすぐ住宅地に

た大災害が繰り返されるのでは、と地元の人々が本当に心配しています。しかし、これまで川崎市は、調整池の安全確認の基準はないとして、指導の対象にしてきませんでした。

井口市議は「住民は本当に不安だ。調整池の安全性はどうするのか」とたまたし、飛彈局長は「安全性の確認は必要なものと認識している」「関係局と調整しながら、（まちづくり局長として）事業者に必要な指導をする」と、始めて答弁しました。

なぜつけられるのか  
井口市議は「第三者の専門家の意見を聞くということも、法にはない調整池の安全性を確認するということも、どれも本来に異例づくめ。そんなことをしてまで受け入れなければならぬのか、根本的疑問を感じる」として、これからも市民の意見をしっかりと聞くよう、要望しました。

## 都市計画審議会 多摩美特別緑地保全地区を指定

三月二四日、川崎市都市計画審議会は、川崎市内の四つの地区について、あらたに特別緑地保全地区に指定することを決定しました。このなかで、七年まえから地元の皆さんが「貴重な緑を守ってほしい」と運動し、ついに市の基準を変更して保全した緑地が含まれています。

多摩区にもまだまだ開発の危険にさらされている緑地がたくさんあります。あきらめずに保全のために働きかけていきましょう。

## 7年かけて緑地を保全 市民の力で市政を動かした！

市の保全基準を下げて  
これまで川崎市が保全する緑地は、まず三千平方メートル以上のまとまった樹林



市民の力で守った、多摩美特別緑地保全地区（写真上）。3月22日には、記念の緑のウォークがおこなわれ、130人が参加した。この中に井口市議も。（写真下）



二〇一〇年三月議会で、日本共産党の活動は、別紙の「明るい川崎」でご報告しています。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。